

家庭教育支援チーム

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	別府市家庭教育支援チーム (呼称: オーリンズ別府)
②活動拠点	別府市(荘園公民館・建築会館)・杵築市
③活動範囲	別府市・杵築市
④組織体制	27 人 子育てサポーター15名(うち元・現役教員3名・保育士4名・福祉委員2名含む)、生活倫理相談士12名。
⑤活動開始年度	平成20年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等)「オーリンズ別府・子育てセミナー」安本英子 (TEL) 090-3415-8154 (E-mail) k.eiko5867@gmail.com

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;"> <div style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: black; margin-right: 5px;"></div> <div style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: black; margin-right: 5px;"></div> <div style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: black; margin-right: 5px;"></div> </div> <div style="border-left: 2px solid black; padding-left: 10px;"> <input type="checkbox"/>自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/>保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/>その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) </div> </div> <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 <div style="text-align: center;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</div>

(具体的な活動内容)

私たちの「オーリンズ」という名前は、「大分県内の子育て中のお母様方が、明るく楽しく子育てをして頂きたい！一人での子育てではなく、仲間を増やして共感しあいながら楽しい輪を広げていきたい！」という想いから付けました。

・「オーリンズ別府・子育てセミナー」の開催

セミナー会場は、公共の場をお借りして、主に別府市で開催しています。役員交代などがあり杵築市での開催が休止していましたが、令和 4 年春より再開予定になっております。

対象は、妊婦さんから子育て中の保護者です。毎回、テーマを決めて子育てに関するお話を、講師にして頂きます。

初対面でも、保護者の皆さんがたくさんお話出来るように、お子さんの年齢別にグループを分けて、日頃の子育てについての悩みや喜びを共有できる時間を設けています。

講師からの講話を 20 分。グループトークが 20 分、その後グループ内で出された質問や疑問を直接講師に聞くための質疑応答の時間を設けています。また、その場では話せない、話したくない相談を個人的に出来る、秘密厳守の個人相談もしています。

③活動内容

参加者の皆さんが家庭に戻ったときの心構えや子どもへの声かけを学び、心の転換をしてもらいたいというのがねらいです。

セミナー中は、お子さんを託児室で預かり、お話をゆっくり聞いて頂けるようにして普段の子育ての現状から少しでも安らぐ時間づくりを心掛けています。

【セミナーの様子】





・「子ども倫理塾」の開催

子育てセミナーは保護者を対象としていますが、こちらは小学生の子どもさんが対象で、「まなび」「あそび」「しつけ」を三本柱に子どもが楽しみながら沢山のことを学ぶことができる内容です。

具体的には、自分の気持ちを言葉にして短歌を作ったり、書道を通して自分の名前の由来を考える時間を設けたりしました。

地域の方々のご協力もあり、親子でお芋ほりもしました。お芋学習をして、葉っぱの形やお芋の出来方、レシピも学びました。畑までの道のり、出会う人へのあいさつ、畑を提供して頂いた方へのお礼など、世代を超えた交流で沢山のことを学びました。食べ物が自分の体を作ってくれることも学び、帰ってからの食欲には圧巻でした。

【子ども倫理塾の様子】

・お芋ほり



・短歌づくり



・1人ずつ短歌の発表



これらの企画を 2 か月に 1 回集まり話し合い、コロナ禍のために集まれないときには、グループラインを活用して企画・運営しています。

④活動の成果
(活動実績がある場合)

「オーリンズ別府・子育てセミナー」に参加した方からは、「講師から『よく頑張ってるね』と声をかけて頂いたとき涙がでました」とか、「話をきいて、言葉に気を付けようと思った」「子どもを託児に預けられるから、ゆっくり講師の話を聞けて良かった」という声が聞かれ、終了後は笑顔で帰られています。

また、実際に講師にアドバイスしてもらったことを家庭で実践し、「子どもが落ち着いた」「子どもが嫌いなものを食べるようになった」「学校のことを話してくれるようになった」という報告もありました。

「子ども倫理塾」では遊びの中から小さい子への思いやり、年上、年下の年齢応じた、尊敬と慈愛を学んでいます。また、体験したことを通して、食べ物への興味を持ったり、作り手、料理をする人への感謝を持ったりするようになりました。

子育て世代同士での息抜き場として、子育ての悩みを共感しあい、お互いの子どもの成長も共感できると喜んでくれています。

<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p> <input type="checkbox"/>文部科学省補助事業(事業名:) <input type="checkbox"/>文部科学省委託事業(事業名:) <input type="checkbox"/>厚生労働省事業(事業名:) <input type="checkbox"/>地方公共団体単独事業として実施 <input type="checkbox"/>特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) <input checked="" type="checkbox"/>その他の支援により活動を実施 (家庭倫理の会 別府市・倫理研究所) </p>
-----------------------------	--